

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公開番号】特開 2001-188561 (P2001-188561A)
【公開日】平成 13 年 7 月 10 日 (2001.7.10)
【出願番号】特願 平 11-371274
【国際特許分類第 7 版】
G 1 0 L 19/00
【F I】
G 1 0 L 9/18 J

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 8 日 (2005.2.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の操作スイッチと、

上記複数の操作スイッチの何れかが操作された際、該操作された操作スイッチを検出するスイッチ操作検出手段と、

上記操作スイッチによって設定された動作モードを判定する動作モード判定手段と、音声案内データを記憶する記憶手段と、

上記動作モード判定手段により判定された動作モードに対応する音声案内データを上記記憶手段から選択する音声案内選択手段と、

上記音声案内選択手段により選択された音声案内データを再生する音声再生手段と、を具備することを特徴とする音声記録再生装置。

【請求項 2】

上記記憶手段は、さらに当該音声記録再生装置にて録音する音声データを記憶することを特徴とする請求項 1 に記載の音声記録再生装置。

【請求項 3】

上記記憶手段は、

当該音声記録再生装置にて録音される音声データを記憶する音声データ記憶領域と、

上記音声案内データを記憶する音声案内データ記憶領域と、

を具備することを特徴とする請求項 1 に記載の音声記録再生装置。

【請求項 4】

通常の録音モードでは、上記音声案内データ記憶領域への音声データ書き込み動作を禁止することを特徴とする請求項 3 に記載の音声記録再生装置。

【請求項 5】

さらに、ホールド状態を設定するホールド状態設定手段を備え、

上記音声再生手段は、上記ホールド状態設定手段によりホールド状態が設定されている場合に上記音声案内データの再生を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の音声記録再生装置。

【請求項 6】

さらに、録音中は上記音声再生手段による上記音声案内データの再生を禁止する禁止手段を具備することを特徴とする請求項 1 に記載の音声記録再生装置。

【請求項 7】

複数の操作スイッチと、

上記複数の操作スイッチの何れかのスイッチが操作された際、該操作された操作スイッチを検出するスイッチ操作検出手段と、

音声案内データを記憶する記憶手段と、

上記スイッチ操作検出手段で検出された操作スイッチに対応する音声案内データを上記記憶手段から選択する音声案内選択手段と、

上記音声案内選択手段により選択された音声案内データを再生する再生手段と、を具備することを特徴とする音声録音再生装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するために請求項1に記載の音声記録再生装置は、複数の操作スイッチと、上記複数の操作スイッチの何れかが操作された際、該操作された操作スイッチを検出するスイッチ操作検出手段と、上記操作スイッチによって設定された動作モードを判定する動作モード判定手段と、音声案内データを記憶する記憶手段と、上記動作モード判定手段により判定された動作モードに対応する音声案内データを上記記憶手段から選択する音声案内選択手段と、上記音声案内選択手段により選択された音声案内データを再生する音声再生手段と、を具備することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記の目的を達成するために請求項3に記載の音声記録再生装置は、上記記憶手段は、当該音声記録再生装置にて録音される音声データを記憶する音声データ記憶領域と、上記音声案内データを記憶する音声案内データ記憶領域と、を具備することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記の目的を達成するために請求項7に記載の音声記録再生装置は、複数の操作スイッチと、上記複数の操作スイッチの何れかのスイッチが操作された際、該操作された操作スイッチを検出するスイッチ操作検出手段と、音声案内データを記憶する記憶手段と、上記スイッチ操作検出手段で検出された操作スイッチに対応する音声案内データを上記記憶手段から選択する音声案内選択手段と、上記音声案内選択手段により選択された音声案内データを再生する再生手段と、を具備することを特徴とする。